

今年も開催

「思い出に残る授業」を生み出す食と農の体験 信州・つがい食農学習センター「食農教育講座」



「講座で教えていたたいたことが大変役に立ちました。講座を受けた二〇〇四年はちょうど小学校五年生の担任で、バケツ稻と田んぼに取り組み、無事に収穫。藁からはワラジや藁馬、壁掛けをつくり、糠は糠入り白玉やクッキーやワッカス・石けんに利用、糀殻は燃炭にして田んぼに返しました。何一つ無駄にしない昔の人の知恵を学び、よい経験になりました。

お米を食べる際も、子どもたちは「カレー」や「ピラフ」にしては味がわからない」と、おにぎりにし、「こんなにおいしいご飯は食べたことがない」と感動した姿

を今も覚えています。その

たことが大変役に立ちました。講座を受けた二〇〇四年はちょうど小学校五年生の担任で、バケツ稻と田んぼに取り組み、無事に収穫。藁からはワラジや藁馬、壁掛けをつくり、糠は糠入り白玉やクッキーやワッカス・石けんに利用、糀殻は燃炭にして田んぼに返しました。何一つ無駄にしない昔の人の知恵を学び、よい経験になりました。

お米を食べる際も、子どもたちは「カレー」や「ピラフ」にしては味がわからない」と、おにぎりにし、「こんなにおいしいご飯は食べたことがない」と感動した姿

を今も覚えています。その

「やつてよかっただなあ」と実感

後給食で、ご飯も他の物も、センターで毎年、開かれていたことが大変役に立ちました。これは「二〇〇四年八月の「食農教育講座」に参加された東京の小学校の先生からの手紙です。

絶対残さなくなりました」これは「二〇〇四年八月の「食農教育講座」に参加された東京の小学校の先生からの手紙です。

今年一月発表された「学習指導要領全体の見直しについての

が今年卒業する際、「六年間で学んだこと」で、この

「審議会経過報告」（中教審教

告）（中教審教

育課程部会）で

も今子どもたち

に必要なもの

は「学習や生活

</div